慣用句の きまりを 見つけよう①

同じ 体の ぶぶんの ことばを あつめよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

同じ 体の ぶぶんの 慣用句を 5つ 読んで、ぜんぶに 当てはまる「きまり」を 1つ 見つけよう。

「きまりの 箱」の ア～カから えらんで、5つに つき 記号を 1つ、右の □に 書こう。

きまりの 箱

ア 話す・ことばを つかう・つたえる	イ ひょうばん・つきあい
ウ 見る・見わける	エ 気もちの うごき
オ あつかう・せわ・てつだい	カ 聞く・聞きとる

れい 目の ことば　3つとも 見る・見わける はなし → ウ

		きまりは？
目が利く	＝ よい ものと わるい ものを 見わける ことが できる	ウ
目を配る	＝ ぜんたいに 気を くばって、あちこちを 見る	
目が泳ぐ	＝ ふあんで、視線が おちつかない	

問1 手の ことば

		きまりは？
手に余る	＝ 自分の ちからでは かたづけきれない	□
手に負えない	＝ 相手の いきおいが 強すぎて、かたづけられない	
手玉に 取る	＝ 相手を 思いどおりに あやつる	
手塩に かける	＝ 自分で 世話を して、たいせつに 育てる	
手綱を 引く	＝ 相手を きびしく かんりして、いきおいを おさえる	

問2 顔の ことば

		きまりは？
顔が売れる	＝ 広く 知れわたって、ゆうめいに なる	□
顔を売る	＝ 自分の 名前や ことを、広く 知ってもらう	
顔が きく	＝ 知り合いが 多くて、とくべつに よく して もらえる	
顔が 立つ	＝ みんなの 前で、立場が 守られる	
顔を潰す	＝ 相手の 立場を わるく して、はじを かかせる	

問3 きまりに 合うかな？

手の ことばは 問1、顔の ことばは 問2 で えらんだ きまりに 合えば ○、合わなければ ×を □に 書こう。

(1) 手前味噌	＝ 自分で 自分の した ことを、人に ほめて 言う こと	□
(2) 手中に収める	＝ 自分の ものにして、思いどおりに できる ようにする	□
(3) 顔を つなぐ	＝ 知り合いとの かんけいを たもつ	□
(4) 顔を曇らせる	＝ しんぱいや かなしみで、くらい 表情を する	□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます